

三井物産のDX

Business Transformation & Innovation with Digital

三井物産には、貴重なリアルなデータを獲得できる現場が幅広くあります。三井物産のDXは、この貴重な現場をベースにデジタルの力を加える、すなわち、Operational Technology^{*1}×Digital Power^{*2}で、効率化や最適化による売上増やコスト削減を図るとともに、新たなビジネスの創出にも取り組んでいます。

^{*1} Operational Technology (OT) : 商品知識、ビジネス知見、営業力、物流機能、法務、人事、プロマネ等の当社の商社オペレーションノウハウすべて

^{*2} Digital Power: AI・IoT、ロボティクス、ビッグデータ

DX事業

DX総合戦略の推進により、デジタル総合戦略部創設以来、多くのDX事業が誕生しています。

2025年3月期までのDX案件数

2021年3月期に策定したDX事業戦略に基づき、着実にDX案件は増えており、実運用に至った累計の案件数は2023年3月期の45件超、2024年3月期の50件超、2025年3月期は60件超となりました。

2023年3月期

45件超

2024年3月期

50件超

2025年3月期

60件超



ダイナミックプラスは、AIを活用した価格最適化サービスを提供し、事業者の収益最大化と消費者への適正価格の実現を両立しています。スポーツ・エンタメを起点に、宿泊施設や交通機関等の多様な業界へ展開しています。導入企業は120社を超え、年間流通総額は約300億円に達しています。需給に応じた価格変動により、売れ残りの抑制や在庫の有効活用を促進し、消費者にとっても納得感のある価格体験を提供しています。

年間流通総額^{*1}

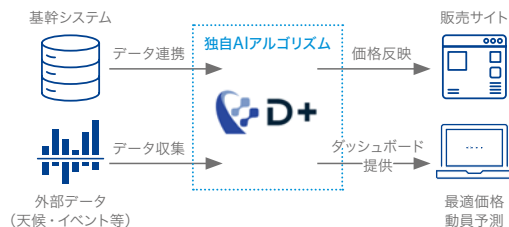
約300億円

年間流通総額成長率^{*2}

40%

価格算出の頻度^{*3}(1席/1部屋)

15分毎



^{*1} ダイナミックプライシングを適用したチケット販売

^{*2} 直近3年間の年平均成長率 ^{*3} 最短の場合



Dynamic Plus (ダイナミックプラス)
<https://www.dynamic-plus.com>

DX総合戦略

当社では2021年3月期にDX総合戦略を策定、
当社グループのDXのあり姿を示し、推進のロードマップとしています。

DX事業戦略

- リアル (Operational Technology) ×DX
- デジタルを武器にした主体的な事業経営
- デジタルによる社会課題の産業的解決
- 徹底的なエンドユーザー起点

DD^{*}経営戦略 ~人とデータの三井へ~

- データによる迅速かつ正確な意思決定
- データの共有・活用によるプロセス改善
- データは見るものではなく使うもの
- データは会社の資産 ^{*}DD: データドリブン

DX人材戦略

- DXを標準装備した次世代型経営人材を輩出
- DXによる絶え間ない革新を当社の企業文化として定着

DX人材

グローバル全社員がデジタルを標準装備します。
また、DX案件を牽引するDXビジネス人材を
積極的に内製化します。

当社ではビジネスとデジタルの双方を深く理解し、実ビジネスでDXを推進するDXビジネス人材の内製化を進めており、2024年3月期の200名超に対し、2025年3月期は500名超となり、2026年3月期時点で1,000名の育成を目指しています。

DXビジネス人材
2024年3月期

200名超

DXビジネス人材
2025年3月期

500名超

DXビジネス人材
2026年3月期(目標)

1,000名

DX基盤

DX総合戦略を効率的・効果的に実現するDX基盤。
システム・プロセス・データの全体最適を実現する
デジタル・グランドデザインを策定しました。

デジタル・グランドデザイン

デジタルガバナンスと標準化の羅針盤。システム・プロセス・データの全体最適を実現し、デジタル・グランドデザインによりグローバル・グループ全体の競争力強化、企業価値向上を実現します。

生産性向上

事業価値向上

意思決定高度化

DX総合戦略

デジタル・グランドデザイン

プロセス

システム

データ

人材/体制

ガバナンス/
セキュリティ

グローバル・グループ全体のDX/ITシステムは
サイバーセキュリティを考慮した上、企画・設計・運用しています。
また、今後、DX/ITシステムの多くで生成AIを活用し、
更なるパフォーマンス向上・新規ビジネス創出を目指します。

サイバーセキュリティ

DX基盤を支えるサイバーセキュリティ対応をさらに進めました。具体的には、サイバーセキュリティ戦略の策定、グループサイバーセキュリティ準拠レベル判定制度の導入、DX案件のサイバーセキュリティ相談窓口の設置、サイバー攻撃を想定したサイバーBCP訓練の実施等に取り組みました。また、生成AIの利用並びに提供に関するリスク対策ガイドラインを制定し、安全な利活用を促進しています。



サイバーインデックス
企業調査2024
一つ星認定
優れた取組姿勢および
情報開示が確認できた
企業

生成AI

2023年3月には、セキュリティに配慮した社内版生成AIをリリースし、活用を開始しました。その後、2024年8月より、新たな全社共通AIの導入を開始し、活用の本格化を図っています。これに加え、特化型AI・事業系AIに分類される多数の生成AI関連プロジェクトを推進しています。

ダッシュボード

更なるデータ活用を目指し、データマネジメント方針及び規程を定め、Data Management Platformへの全社共通データの集約を進めました。また、ダッシュボードポータルをリリースし、共通で活用可能なダッシュボードを一元的に社内公開し、全社でのデータ分析とデータに基づく意思決定を進めています。



三井物産のDX
https://www.mitsui.com/jp/ja/company/outline/dx_comprehensive/